210×210×205

電気を使わない自動ドア “エコ・ドア「ミーモ」”とは 特許第5985470号

公共施設(役所・高速道路)に導入実績抜群の、電気を使わない自動ドア “エコ・ドア「ミーモ」”は、安心・安全で環境負荷の低減に挑戦しています。
地方自治体の授乳室・ベビールーム入口ドアに最も多く採用されております。
お母さんが赤ちゃんを抱いて授乳室・ベビールームに出入りする際、手動ドアであれば片手で赤ちゃんを抱えながらドアを開けることになるので、不安定になり事故につながるおそれがあります。また、自動ドアの場合、災害発生時の停電の影響でドアが開かなくなり、狭い室内に閉じ込められ2次災害等の重大事故につながるおそれがあります。電気を使わない自動ドア “エコ・ドア「ミーモ」”は荷重により自動開閉するので、停電時にも室内に閉じ込められることはありません。

高い安定性、安全性の実現

急な停電時の閉じ込め事故ゼロ

“エコ・ドア「ミーモ」”は、停電の影響を受けることなく自動ドアとして作動するので、閉じ込め状態にはなりません。

斜め進入や戸袋側進入による接触事故防止

自動ドアは、斜めからの侵入に弱く(センサーの死角)ドアが開かずに接触するケースが多くみられます。“エコ・ドア「ミーモ」”は、斜め進入や戸袋側進入による接触事故が発生した際も、非常に弱い力で作動しますので、大事故を防ぎます。

立ち止まりによる挟まれ防止

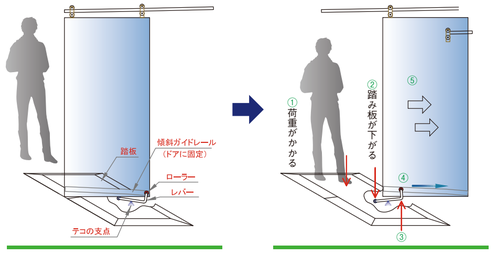
自動ドアはドアの間がセンサーの死角であり、挟まれ事故が問題視されています。“エコ・ドア「ミーモ」”は踏み板に荷重がかかっている限り、絶対にドアが閉じる事はありません。

引き込まれ防止・駆け込みによる衝突防止

“エコ・ドア「ミーモ」”は非常に弱い力で作動しますので、万一小さなお子様が引き込まれを起こした際も、大怪我にいたることはありません。又、踏み板に乗らなければ開かない為、駆け込みによる衝突も発生しません。

電気がいらない仕組み

動作前　動作後



①人の荷重(体重)が踏板にかかる。
②踏板に連動しテコの先端が下がる。
③テコの他端が上昇しローラーが傾斜ガイドレールを押し上げる。
④ローラーの圧力と転がりを利用して傾斜ガイドレールを矢印方向へ移動させる。(ドア開)
⑤ドアが開く

片開きタイプの “エコ・ドア「ミーモ」”のミニチュア

❶作動前

❷作動中

❸作動後

導入メリット

- 停電に関係なく自動ドアとして作動し閉じ込め状態になりません。
- 中長期コスト削減の実現に。
- 電磁波ゼロで病院や精密機械工場でも使用可。
- 企業のCSR活動PRの一端に。

製品情報

タイプ	片引き車イス仕様	両引き
開閉方法(動力)	体荷重	体荷重
開閉動作圧力	15Kg～200Kg	25Kg～200Kg
踏み板ストローク	20～25mm	20～25mm
開閉部寸法 (特注対応可)	高さ 2,000mm 間口 標準 900	高さ 2,000mm 間口 標準 1600
形式	WS 型	D 型
ドア重量	標準 45Kg	標準 45Kg
最底荷重(体重)	15Kg	25Kg
オプション	空錠・簡易錠・電気錠	空錠・簡易錠・電気錠

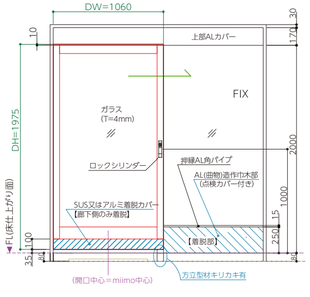
他社製品との技術／性能比較

	エコドアmiimo	他社電気自動ドア
CO2 排出	◎(なし)	×(電気)
開閉スピードの体重依存	○(少ない)	◎(なし)
メンテナンス	◎(1 回／年)	×(2～4 回／年)
開閉スピード調整	◎(可)	◎(可)
開閉応答性	◎	◎
コンパクト性	◎	◎
最低荷重(体重)	△(15Kg～25Kg)	◎(0Kg)
施工性	◎	◎
施工者の資格	◎(不要)	×(必要)
電力料金(25円/Kwh)	0 円／年	10,220 円／年 ※1

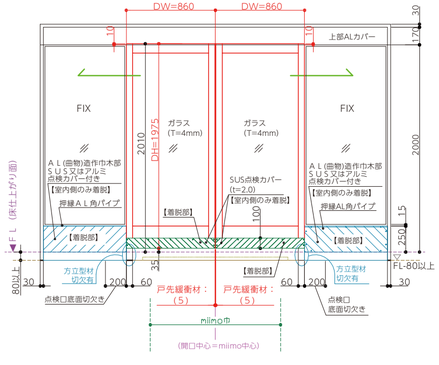
算出:株式会社福島エコロジカル
※1　1,000往復/日

標準図面

片引き　※1.FL＝ＦＬ±０床仕上がり面
※2.室内側から見た外観



両引き　※FL＝ＦＬ±０床仕上がり面
※室内側から観る



ベース
設計資料 建築編　設計資料に掲載されています。

無電源自動扉
エコドア ミーモ、無電動自動ドア　(株)miimo
〒130-0025 東京都墨田区千歳3-12-7(☎03-6659-3800)

様々なところでご利用いただいております

習志野市役所 市民ロビー

いわき市植田町子供元気センター 授乳室

いわき市久之浜防災施設 授乳室

いわき市 21世紀の森公園災害時拠点施設 多目的室

藤沢市民病院 本館連絡通路

新東名高速道路 岡崎SA

岩槻道路管制センター 見学者ルーム

東海北陸自動車道 ぎふ大和PA(上り線)

お客様の声

商業施設ビル環境設計部さまより

従来の施設内に設けてある授乳室・ベビールームの扉ですと、片手で赤ちゃんを抱えての入室になるのでどうしても不安定な姿勢になり事故につながるおそれがありました。ベビーカーでの入室もお母さんが回り込んで開けなければならないため不便ですし、無駄なスペースが必要でした。自動ドアでは地震や火事にともなう停電の影響で狭い室内に閉じ込められ2次災害につながる心配がありました。
その点、電気を使わない自動ドア“エコ・ドア「ミーモ」”は荷重によりドアが自動開閉し、停電の影響を全くうけないので安心・安全というお声をいただきました。

老人ホーム施設長さまより

車椅子ご利用のお客様やすばやく動くことのできない高齢者のためには“エコ・ドア「ミーモ」”はとても良いです。従来の自動ドアの場合の閉まるドアに挟まれての事故や、風に乗ったごみでドアが開いてしまうなどの問題が解決できました。

電気を使わない自動ドア“エコ・ドア「ミーモ」”ご採用のひろがり

地方自治体の授乳室・ベビールームにご採用頂いたのを契機に、保育園の保育室(0歳児・1歳児)でのご採用を頂きました。さらに“赤ちゃんの駅”等でのご導入をご検討頂ける施設がふえてきております。
ゆっくりとした開閉、人がいるかぎり閉まらない仕組み、停電しても動く、事故や閉じ込めなどの2時災害を防ぐこと。電気を使わないから電気工事は不要で、もちろん節電にもなります。人と環境に優しくする自治体や福祉施設、企業様に導入が広がっています。
人と環境にやさしいキカイです。ゆっくり動く“エコ・ドア「ミーモ」”